

大宇宙産の大御意志による日本国憲法第一条と九条

【昭和天皇の御決意】

昭和天皇は、この大戦の難局を如何に結ばんものと心血を注ぎ、国体の名誉を如何に全世界に繋(つな)がんものと苦慮なさりし時に、広島・長崎に投下された原爆の惨事を知らしめされました。よって天皇は此処に国体の名誉を配慮し、お賭けなされたのでございます。

最終戦争が勝ち負けでなく人類を滅亡させる危機を招くものと悟られて、人類の福祉・世界の平和の為に、二度と戦争をしない誓いをお立てになり、戦争の終結を決意するとともに、神佛に戦争の無い世界を懇願(こんがん)され、御自らの命をお捨てになる覚悟で戦争終結の詔勅(しよくちよく)をなされたのでございました。

時は昭和二十年八月十五日のことであり、昭和天皇の御意志(みごころ)・御決意の詔勅に、総ての日本人民は御従い申し上げたのでございました。

【大宇宙産の大御意志】

昭和天皇は、自国の原爆製造を諫め(いさめ)中止させながら、自らの人民がその原爆の犠牲となる憂き目に遭(あ)いました。但(ただ)し天皇は、自国の人民のみならず全世界の全人類を守り救う為に、自らの命をも顧(かえり)みず自らが率先して、何時如何なる事態が起きようとも二度と戦争をしない誓いを立て、戦争の無い世界を神佛に懇願されました。

世界の恒久平和の為に戦争の終結を御決意された昭和天皇の御意志(みごころ)詔勅に、総ての日本国人民が従い、美事(みごと)に戦争を終結させた素晴らしい民族に大宇宙産の大御意志が直ちに発せられたのです。

即ち、昭和天皇の御意志の誓いに、従い申し上げた日本国人民の誠(まこと)精神を、大宇宙産の大御意志は直ちに天に救い上げられて、昭和天皇の戦争の責任を不問になされました。また大御意志は、此の生産土(うぶすな)の大地に新たなる秩序正義を打ち立てる為に日本国天皇として人民に大きな責務を付加し、世界の恒久平和の礎(いしずえ)と為すために今世紀最大の奇跡を起こし、この世に現(あらわ)されたのです。

『即、大宇宙産の大御意志を数に示せば九となり、色に現せば紫となり神佛の権威なのです。さらに神佛の鉄則筋道を文字で現し示せば條となるのです。日本国憲法第一条と九条は、大宇宙産の大御意志が発し置かれた神佛の鉄則・神の筋道です。』

大宇宙産の大御意志は、「此の条約を反故(ほど)にしようなど思うな。その時は、如何なる事になるか知るが良い。」と仰せでございませう。「日本国憲法第一条と九条は、全人類に神佛が示し置かれた誇るべき人類の宝・精神であると悟らねばならぬ」とも仰せであります。

特に日本国天皇と日本国人民はこの憲法の精神を、より正しく、より深く理解を高め、世界の国々に先駆けて、その責務を果たす為に憲法に従い、世界の平和をリードして行くことこそ、これに優る平和への貢献はないと仰せでございませう。

畏

平成元年四月二十四日【不戦の誓い】神々との誓い拝受 記 加 古 藤 市